

# 平成30年度アーバンデザインスクール（前期）

- ・ 将来UDCBKの運営の担い手となる「媒介の専門家」「地域の専門家」の育成を目的とする。
- ・ 4回の講演のあと、第5回にワークショップを実施予定
- ・ 全回のコーディネーターは及川清昭センター長（立命館大学理工学部教授）

	1	2	3	4	5
開催日時	6月16日（土） 10:30～12:00	7月21日（土） 10:30～12:00	8月25日（土） 10:30～12:00	9月29日（土） 10:30～12:00	10月27日（土） 10:30～12:30
テーマ	草津の歴史と自然 （カルチャー）	草津市の歴史的建造物 （ストラクチャー）	地域文化のストーリーの つくりかた （ストーリー）	快適に歩ける歩行空間 （ストリート、プレイス）	ワークショップ 「歩いて巡りたくなる地 域」のアイデア
概要	草津市の歴史と自然、 特に地形の変化と有形 無形の文化財との関係 を解説します。	草津市内に残る歴史的 建造物の特長について 地域の文化や歴史、当 時の地形等に触れなが ら、解説いただきます。	地域の有形無形の文化 財を核に、地域文化の ストーリーを描く「日 本遺産」など全国の取 り組み事例の御紹介と 地域固有のストーリー の作り方を解説いた だきます。	快適に歩ける歩行空間、 ルートの途中にある “休んだり、交流でき る賑わい空間”、スト リートにあるサインや ストリートファニ チャー等についてお話 をお伺いします。	4回までの講義を踏ま え、グループで草津市 内の任意の場所をモデ ルに「歩いて巡りた くなる地域」のアイデア を考えます。
話題提供者	馬場将史 草津市教育委員会 文化財保護課	青柳憲昌 立命館大学 理工学部准教授	丁野朗 東洋大学大学院 国際観光学部客員教授	石川亮 成安造形大学附属 近江学研究所准教授	藤井健史 立命館大学 理工学部助教
参加者数	23	23	15	22	

# 平成30年度アーバンデザインスクール（後期）

- ▶ 将来UDCBKの運営の担い手となる「媒介の専門家」「地域の専門家」の育成を目的とする。
- ▶ 4回の講演のあと、第5回にワークショップを実施予定
- ▶ 全回のコーディネーターは武田副センター長（立命館大学理工学部教授）
- ▶ 「建築と情報」（仮）

ICT、IoTの進歩により建築のあり方がどのように変わるのかを考えるシリーズ。

設計図面のデジタル化によるコピーやリミックス、CGによる今までにないデザインの設計やAIによる構造計算、そして3Dプリンタによる製作、IoTによる空間制御、VR等によるスクリーンとしての建築など、ICTやIoTの発達により従来の建築のあり方が変わりつつあることを理論編と実践編の2部構成で実施予定。

# 平成30年度未来創造セミナー

- ・ 学習・交流を目的に実施
- ・ この場から、異なる考えを知り、さらに各自が考えを深め、次のテーマを見つけ出すことを支援

	1	2	3	4	5
開催日時	7月24日(土) 13:30~15:30	8月24日(金) 18:30~20:00	9月11日(火) 13:30~15:30	10月19日(金) 16:00~17:30	11月6日(火) 14:00~16:00
テーマ	わたしがつくる “健幸都市くさつ” ～草津の課題分析・ 未来構想を考える～	未来を創るひとの 健幸づくり ～IoTが創るみらいの カラダ・健康～	SDGsからみる 未来のまちづくり ～イノベーション(技 術革新)からSDGsを 考える～	チャレンジ!! オープンガバナンス (COG) 2018 ～アイデアを生み出す市民 と行政の連携の場づくり～	SDGsからみる 未来のまちづくり SDGsは環境・社会・経 済の“三方よし”
講演者等	山元圭太氏 合同会社喜代七代表	李 相烈氏 オムロン株式会社	建山和由氏 立命館大学 理工学部教授	奥村裕一氏 東京大学公共政策 大学院客員教授	滋賀県商工労働部/ 土木交通部
参加者数	20	21	23		
備考	現在の草津市の状況と現在の統計情報から推測される2040年の健幸都市を実現するために何をすればいいかを考えた。	センシング技術とデータ流通により、バイタルサインと日常の活動との関係が明らかになった時、人々の生活がどう変わるかを考えた。	SDGsの考え方がイノベーションを引き起こすことをデザイン思考、デザインドリブンイノベーションの理論から御説明いただいた。	当市は3年連続でCOGに参加することから、COG2018の簡単な説明とアイデアを生み出す市民と行政の連携の場づくりについてお話しいただく。	商工労働部、土木交通部の政策を事例に、SDGsの視点を取り入れることによって、どのように政策が変わったかを御紹介いただく。

# 平成30年度未来創造セミナー

- ・ 学習・交流を目的に実施
- ・ この場から、異なる考えを知り、さらに各自が考えを深め、次のテーマを見つけ出すことを支援

6	
開催日時	12月7日（金） 18:00～20:00
テーマ	SDGsからみる 未来のまちづくり SDGsで地域社会を イノベート！
講演者等	滋賀銀行CSR室
参加者数	
備考	地銀で初めてSDGs宣言 を行った滋賀銀行の SDGsの視点を取り入れ たイノベーションの事 例を御紹介いただく。

## 【現在企画中のセミナー】

- ・ IoT関連 スマートヘルスケアに続くIoTとまちづくりシリーズ  
「IoTがもたらす新たな交通（コネクテッド、自動運転、電動化、シェア）」、  
「AI（人工知能）」
- ・ 自然 自然をテーマに草津市を「田園・湖畔」、「市街地」、「里山」に  
わけて、テーマを検討中。
- ・ 鉄道まちづくり  
「南草津駅ができるまで」、「新交通システムについて」、「立命館大学生  
が考える交通まちづくり」
- ・ まちライブラリー@南草津駅前西口広場  
3回シリーズ 市内各所に本の巣箱を置き、小さな交流スポットを創る。今  
年度末に市内の本の巣箱を広場に集めるアーバンピクニックを企画

# 平成30年度連携事業（共催）

	1	2	3	4	5
開催日時	5月23日（水） 13:00～14:30	7月11日（水） 17:00～18:30	7月12日（金） 13:30～15:00	8月31日（金） 18:00～20:00	9月5日（水） 18:00～20:00
テーマ	UDCBK×草津商工会議所× 草津おみやげ隊 草津、いいもの、みんなではなそ！～草津のいいものを発掘し、草津ブランドを育てましょう！～	市長と「食」と学生生活を語ろう	COG2018に関する 市長、奥村先生、市民団体、 市職員との意見交換会	重点プロジェクトを みんなで考える オープンワークショップ in UDCBK	UDCBK×SDP デザイントークセッション Observation×Construction
講演者等	戌亥史一氏 （草津商工会議所 中小企業相談所 業務指導課） 大塚佐緒里氏 （草津おみやげ隊代表）	橋川市長 小沢准教授 （立命館大学食マネジメント学部） 立命館大学生（9名）	橋川市長 奥村裕一氏 （東京大学公共政策大学院 客員教授） 市民団体等7名 市職員7名	木下達文氏 （京都橋大学）	Nigel Bertram氏 （モナッシュ大学アートデザイン&建築学部教授） 鈴野浩一氏 （トラフ建築設計事務所）
参加者数	30	20	21	32	43
備考	草津にはいいものがあるけれどお土産がない。お土産にはお土産話が必要ということで企業と市民団体との協働の可能性について議論	今年の4月に開設した立命館大学食マネジメント学部生を中心に市長と「食」と学生生活について懇談	オープンデータとオープンガバナンスの関係、EBPM（Evidence Based Policy Making = 証拠に基づく政策立案）について意見交換を実施	草津市文化振興計画の重点プロジェクトについて、市民と職員が一緒に考えるワークショップを実施	2014年に立命館大学院に新設された建築実務型大学院プログラム。第一線で活躍する建築家やデザイナーが客員教授として指導するスタジオ
連携先	・草津商工会議所 ・草津おみやげ隊	立命館大学 食マネジメント学部	草津市総合政策部 情報政策課他	草津市教育委員会 生涯学習課	立命館大学

# 平成30年度連携事業（共催）

	6
開催日時	9月21日（金） 18:30～20:00
テーマ	ボードゲームで楽しく知る 異文化で育った人の 草津の“暮らし” ～誰もが住みやすい草津 のまちを考える～
講演者等	立命館大学 SW2018ボードゲーム プロジェクト
参加者数	23
備考	「やさしいにほんごさろん」特別版。立命館大学の学生が作ったボードゲームを楽しみながら、留学生の草津での暮らしを知り、まちづくりについて考える。
連携先	草津市国際文化協会

まちづくりに関連する市他部署・他機関等のワークショップ等イベントがあれば、積極的に共催していく予定

## その他企画・展示実績

### 【その他企画】

- ▶ やさしい にほんご さろん  
草津市国際交流協会の協力のもと、毎週火曜日  
午前10時から正午、第三金曜日 18時から20時  
に開催
- ▶ 「6月18日午前7時58分（大阪北部地震）あなたは  
どこで、何を、どんなことに困りました  
か？」
  - ▶ 6月19日から約一か月実施
  - ▶ UDCBK壁面に模造紙を貼り、地震が起こった  
時のことを付箋紙に書いていただきました。
- ▶ 「教えてください！夏休みの草津の思い出、行っ  
てみたいところ」
  - ▶ 7月21日から8月末まで

### 【展 示】

- ▶ 立命館大学理工学部建築都市デザイン学科有志による  
「卒業設計展示」（2018/4/25～5/23）
- ▶ 教科書展示会 平成31年度の小・中学校、高等学校用の  
教科書見本を展示（2018/6/8～7/5）
- ▶ 草津市のご当地お菓子パッケージデザイン  
～草津市立玉川中学校美術作品展～（2018/8/21～9/28）
- ▶ 立命館大学理工学部作品展示  
～地域の魅力を高める駅前公園～（2018/21～9/19）
- ▶ 草津川跡地公園de愛ひろばウォーキングマップ設置項目  
投票「草津川跡地公園de愛ひろばウォーキングマップに  
ついてあなたの意見を聞かせてください！」  
（2018/9/22～10/21）

# 社会実験事前調査事業

- 市からテーマを定め、包括協定締結大学7校に対して、5提案を募集
- 一件20万円（税込） 総額100万円
- 公募期間 8月7日（火）から8月28日（火）
- 委託期間 10月上旬予定～平成31年2月28日
- 3件の応募があり、採択予定

	1	2	3
大学名	立命館大学 観音寺納豆再現プロジェクト	立命館大学 EDGE SPROUT	滋賀医科大学 医学部看護学科公衆衛生看護学講座
テーマ	日本遺産「水と祈りの水辺景観」 芦浦観音寺 観音寺納豆再現プロジェクト	歩きやすいまちを実現するための IoT自転車を活用した調査	高齢期に想定されるリスクを考え、“幸せな人生”のあり方をアップデートするためのリスク対応能力涵養のためのアナログゲーム開発事業
概要	観音寺納豆を再現するため、芦浦観音寺にある古文書の観音寺納豆に関する記載内容を調査を行う。	IoT自転車を活用し、歩きやすいまちを実現するための基礎データ（速度、ブレーキをかけた場所、走行ルート等）を収集する。	アナログゲームを通じて、家族みんなが高齢期に想定されるリスクを考え、回避のための行動を考える機会を提供する。

# 視察実績・予定

## 【実績】

- ▶ 宮城県名取市 5月16日（水） 14時半から15時半
- ▶ UDCK（柏の葉アーバンデザインセンター） 6月26日（水） 17時から18時半
- ▶ 新潟県柏崎市 7月4日（水） 14時40分から15時20分
- ▶ 大津市議会・草津市議会 7月25日（水） 16時から
- ▶ 追手門学院大学 7月31日（火） 13時から

## 【予定】

- ▶ 東京都足立区 10月25日（木） 14時半から